

## 2012 年度 小委員会活動成果報告

(2013 年 3 月 7 日作成)

小委員会名	RILEM 小委員会	主 査 名：野口貴文 就任年月：2011 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会	委員長名：本橋健司 主 査 名：
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2013 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	RILEM 小委員会を通して、日本建築学会における材料研究の最近の成果を RILEM の技術委員会活動に反映させるとともに、RILEM の情報を日本建築学会会員に紹介する。 ・初年度：RILEM の研究活動分析および建築雑誌・ホームページでの情報発信 ・2 年度：同上 ・3 年度：同上 ・4 年度：同上	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無 主査：野口貴文 (東京大学) 幹事：今本啓一 (東京理科大学) 三橋博三 (東北工業大学) 委員：石川嘉崇 (電源開発) 大濱嘉彦 (日本大学) 兼松 学 (東京理科大学) 閑田徹志 (鹿島建設) 道正泰弘 (東京電力) 中島史郎 (建築研究所) 永山勝 (日本建築総合試験所) 西脇智哉 (東北大学) 細川佳史 (太平洋セメント) 武藤正樹 (建築研究所) 本橋健司 (芝浦工業大学)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2012 年度予算	200,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： <a href="http://news-sv.aij.or.jp/zairyou/s3/">http://news-sv.aij.or.jp/zairyou/s3/</a>

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. RILEM の TAC および MAC のメンバーが本小委員会のメンバーであるため、RILEM の研究活動・運営活動の最新情報を取得でき、その動向を綿密に分析することができた。 2. 我が国で研究を進めてきたポリマーセメントモルタルの防耐火性に関する新規委員会を RILEM で設置するための検討を十分に行うことができ、3 月の RILEM・TAC 会議において提案した。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 日本の RILEM 会員全員が本小委員会メンバーではないため、原稿執筆をお願いする際に、幾分の困難を伴う。 2. RILEM の情報を得るために、欧州等で開催される RILEM の委員会活動に参加するが、その旅費等は個人の研究費等で賄わなければならない。 3. 昨今、RILEM における日本人の活動が低調であるため、日本建築学会における委員会活動も低調になりがちである。